

道立高等学校の教育活動に係る調査報告書作成会議 議事録概要

開催日時：令和5年（2023年）12月1日（金）10:00～11:15

開催場所：北海道庁別館9階第1研修室

出席者：別紙出席者名簿のとおり

- 議 題
- 1 本事案の経緯の説明
 - 2 調査の目的の説明
 - 3 調査方法、役割分担及びスケジュールの協議
 - 4 その他

議 事

- (1) 議題1 本事案の経緯の説明

事務局から資料を元に説明

- (2) 議題2 調査の目的の説明

事務局から資料を元に説明

事務局から、副次的な目的として、情報管理についてもヒアリングで分かれば助言をいただきたいと補足。

- (3) 議題3 調査方法、役割分担及びスケジュールの協議

- スケジュールについては、事務局から12月中に聞き取り、1月に2回目会議を開催という案を提示。
- 構成員と事務局で必要な資料の確認
(大崎構成員) (未診断の病名を記載した経緯として) 中学校からの書類に病名がないとしても、中学校のどういう話を聞いてそういった書類になったかを明らかにする必要がある。
(深町構成員) 中学校の在籍は特別支援学級か。中学校の個別の教育支援計画とか、個別の指導計画とかも資料としてあればいただきたい。
(高校教育課課長補佐) 確認する。
- 構成員及び事務局でヒアリングの場所や体制について協議、確認。
- 最初に保護者からヒアリングを行うことを確認。日時、場所等の候補を協議。
(大崎構成員) 個人的には保護者がどこまで、何を重視しているのかが分からない。そこを丁寧に聞かないと、調査の全体像が見えない。
(齊藤構成員) (調査で事実確認と言っても) 教諭Aは間違った診断名を記載したことは認めているし、何をもち客観的な事実確認と言うのか。
(深町構成員) 時系列を含めて、事実関係を第三者的立場でもう1回整理して、問題点を洗い出していくということですね。
- 保護者ヒアリングの日程を擦り合わせ、保護者ヒアリング前に必要な資料の確認
(齊藤構成員) 聴取する内容はこういったものになるのでしょうか。
(大崎構成員) 資料を読んで、教頭の聴取内容を精査してから決めましょう。
(高校教育課課長補佐) (この件について) 深く知っている教員とあまり深く知らない教員がいる。そういうところも含めて(聴取の)体制を決めた方がいいと思う。
- 事務局から保護者ヒアリングの日程調整の確認、旅費及び実績時間の確認について説明
- 高校教育課長より挨拶、閉会

※個人情報に関する内容等が含まれるため、公開可能な部分のみ抜粋しています。

道立高等学校の教育活動に係る調査報告書作成会議
出席者名簿

【構成員】

区 分	職	氏 名
弁 護 士	弁護士	大 崎 康 二
学 識 経 験 者	北海道教育大学札幌校准教授	齊 藤 真 善
特別支援専門機関	北海道立特別支援教育センター主査	深 町 友 祐

【事務局】

所 属	職名	氏 名
北海道教育庁学校教育局高校教育課	課 長	相 馬 利 幸
同	課長補佐	岡 本 浩 一
同	係 長	石 田 暁
同	主 査	千 葉 のぞみ